

近年、日本経済や地域経済の土台を支えている多くの中小企業が「需要の減少」、「人材・人手不足」、「事業継承」といった課題に直面する中、コロナ禍によるビジネスのあり方が一変し、さらにウクライナ情勢等による原油価格や原材料価格の高騰、金融資本市場の変動など、経営を取り巻く環境は、これまでに経験したことのない外的環境の変化、いわゆるVUCA時代に突入したとされています。

こうした激変の時代の中でも、「元気な企業」、「地域で活躍している企業」は、強力なリーダーシップのもと、社員が一丸となって顧客価値の創造（経営品質の向上）に取り組んでいます。

「中小企業には難しい」とお考えの方、「何から手をつけて、どのように実践すればよいかわからない」とお考えの方、「ある程度取り組んでいるのだが、もうひとつクオリティアップするヒントが欲しい」と悩んでいる方には最適のフォーラムです。

【日 時】令和4年6月29日(水) 13:30~17:00 (受付 13:00~)

【会 場】会津若松ワシントンホテル 双鶴の間

【参加費】会員：無料（1会員2名様まで） 非会員：1,000円

○13:35~ 記念講演 株式会社MPC 代表取締役 岡本 正耿 氏
(30分) 「経営を取り巻く最近のトピックス」

<プロフィール>



株式会社マーケティングプロモーションセンター（MPC）代表取締役。早稲田大学大学院客員教授、同ビジネススクール講師。日本経営品質賞制度検討委員長。日本能率協会マネジメントスクール専任講師。KAE山城経営研究所経営道フォーラム・コーディネータ。秋田県・茨城県・岩手県・埼玉県・千葉県・新潟県・三重県の各経営品質協議会判定委員長、中国地方経営品質賞委員会副委員長、会津若松市経営品質賞委員会委員長

○14:15~ 記念講演（2021年度日本経営品質賞受賞報告）
(90分) ヤマヒロ株式会社 代表取締役 山口 寛士 氏
「自社防衛のための経営再設計とストーリーのある変革」

<ヤマヒロ株式会社>



出光グループのトップディーラーとして、東京都内を中心にガソリンスタンド35店舗を運営。（ガソリン販売量は都内の出光グループの中で第1位）セルフサービス型店舗（33店舗）をいち早く導入したが、継続取引を重視するため、スタッフ数は減らさず、独自に構築した車両情報管理システムと車番認証システムを連動させることで、顧客に寄り添ったタイムリーな接客を可能にしている。

2035年のガソリン車販売終了を視野に、サービス収益のさらなる向上とともに、地域生活拠点として「東京の街の暮らしをスマートにアップグレードする」という新たなビジョンを掲げて積極的に事業を展開している。

○15:55~ パネルディスカッション
(50分)

※参加ご希望の方は、裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、6月22日(水)までにFAXにてお申し込みください。

会津若松経営品質協議会事務局（会津若松市商工課）横木 行

FAX：0242-39-1433

経営品質フォーラム in あいづ 2022 参加申込書

会員種別	<input type="checkbox"/> 会津若松経営品質協議会会員 <input type="checkbox"/> 一般		
企業名			
住 所	〒		
T e l		F a x	
E-mail			

※ 会員種別欄は、該当するものにチェックしてください。

【参加者】

No.	所属・役職	氏名	※ 交流会
1			参加する・参加しない
2			参加する・参加しない
3			参加する・参加しない
4			参加する・参加しない
5			参加する・参加しない
6			参加する・参加しない

※ 交流会（参加費 4,000 円）への参加・不参加を○で囲んでください。

※ 交流会は中止となる可能性がございます。会費につきましては別途お知らせいたします。

お申込み期限： 令和4年6月22日（水）

～経営品質とは～

経営品質の原点は「顧客視点でモノを考える」ことです。商売の基本に立ち返って、顧客の目線で自社の経営活動を捉え直し「足りない」もの、「間違っている」もの、「優れている」ものへの「気付き」を得て、会社の大小に関わらず今後の活動方針を考えようという試みです。